

～ ドローンによる穂肥散布を実証 ～

JA全農にいがたでは、「スマート農業技術推進実証」として「ドローンによる水稻栽培一貫体系の実証試験」に取り組んでいます。

その中から、最も省力化の期待される穂肥散布についてお知らせします。

○ほ場の形状、面積、天候、穂肥の種類と散布量などにより変動はありますが、作業時間は、10アールあたり5分前後との結果でした。

品種	面積	ドローン機種	穂肥および施肥量	作業時間 (/10a)
ゆきん子舞	80a	ヤンマー DJI MG-1	ドローン専用 NK 1回目：約 4.4kg/10a 2回目：約 4.4kg/10a	共に約 3分
こしいぶき	10a×5		ドローン専用 NK 約 3.0kg/10a	約 5分
コシヒカリ (鉄コ直播)	64a	丸山製作所 MMC 1501	ドローン専用 Si 入 約 3.4kg/10a	約 6分
コシヒカリ (カルパ-直播)	10a	アークステーション XAG P30	ドローン専用 NK 1回目：約 2.8kg/10a 2回目：約 5.5kg/10a	1回目：約 3分 2回目：約 3分半

○動力散布機と比較して、作業時間は同等またはドローン優位であり、作業への作業軽減効果は明かにドローンが優位となりました。

○散布ムラは見られず、ほぼ均一に散布できていました。



担い手・営農支援部
担い手・営農支援課